



感奮!雄志魂

雄志中学校だより 28年 10月号 ②



〒943-0119 上越市下池部 707
Tel. 025-523-2404
URL <http://www.yushi.jorne.ed.jp/>

前期学校評価の結果

1 学期末に行なわれた前期学校評価の結果について報告いたします。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございました。評価結果をもとに、学校運営協議会委員の方からご意見もいただき、自立、共生、創造の3つのプロジェクトを中心に改善の方策を実施していきます。

【生徒アンケート】		(肯定的評価の割合%の高い順)				
No	項 目	1年	2年	3年	全校	
1	係活動や給食当番、清掃活動で、助け合い、協力できた	98.1	100.0	95.1	97.7	
2	体験活動(授業や行事を含む)のねらいを理解して学習(活動)に取り組むことができた。	98.1	96.5	93.4	95.9	
3	日常生活や学校行事を通して、集団の一員として、仲間と連帯感を高めることができた。	94.4	96.5	95.1	95.3	
4	自分も相手も大切にしてい互いに意見を伝え合うことができた。	100.0	92.9	91.8	94.7	
5	生徒会目標達成に向けて、自分の役割を果たすことができた。	96.3	93.0	93.4	94.2	
6	日常生活において、自分の人権だけでなく他の人権を守るために、よく考え、判断して行動するよう心掛けた。	94.4	89.5	93.4	92.4	
7	体験活動(授業や行事を含む)を通して気づいたことや考えたことを、日常生活に生かすよう心掛けた。	92.6	89.5	77.0	86.0	
8	総合的な学習で学んだことや体験したことを通して、自分の生き方について考えを深めることができた。	87.0	87.7	83.6	86.0	
9	雄志授業スタイル(学びの心得7箇条)を、実践できた。	87.0	84.2	73.8	81.4	
10	地域の一員として、地域行事や奉仕活動に参加した。	75.9	80.7	77.0	77.9	
11	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)主体的に家庭学習ができた。	75.5	80.7	72.1	76.0	
12	定期テストに向けて計画的に取り組むことができた。	74.1	84.2	59.0	72.1	
13	学習したこと、体験したこと、道徳の授業で気づいたことや考えたことを家族に伝えることができた。	74.1	61.4	68.9	68.0	

【生徒の授業評価】より

「授業が分かりやすい」 全学年、全教科平均

→「あてはまる」＋「だいたいあてはまる」 95.9%
→「あてはまる」 79.9%

【保護者アンケート】		(肯定的評価の割合 %)			
No	項 目	1年	2年	3年	全校
1	本校の教育目標は、お子様の成長に対する、保護者の方々の願いやご希望に合っていますか。	96.2	91.2	93.4	93.6
2	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われますか。	98.0	86.2	96.7	93.5
3	お子様は、現時点で、ルールやマナーを守る意識が身についていると思われますか。	92.5	89.7	91.8	91.3
4	本校は、よりよい学校づくりに、熱意をもって努力していると思われますか。	94.3	84.5	90.2	89.5
5	本校の教職員は生徒に温かく、また時には生徒のために厳しく、適切に接していると思われますか。	94.3	78.9	95.1	89.5
6	本校の教職員は、保護者の方々に誠意をもって対応し、ご意見・ご相談に応じていると思われますか。	88.7	77.6	91.8	86.0
7	生徒たちの授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。	77.4	77.6	80.3	78.5
8	雄志中学校の教育活動や推進状況に満足感をもっておられますか。	83.0	71.4	80.0	78.1
9	生徒たちへの安全指導、不審者対策、緊急時の対応などについて、学校・保護者間の打ち合わせと協力体制は、十分であると思われますか。	80.8	73.7	78.7	77.6
10	お子様は、現時点で、歯磨きや十分な睡眠など基本的な生活習慣が身についていると思われますか。	67.9	75.9	80.3	75.0
11	本校の重点的取組について、十分な情報が得られていますか。	73.6	72.4	77.0	74.4
12	お子様の適性や進路について、十分な情報が保護者に提供され、生徒・保護者を交えた相談が適切に行われていると思いますか。	72.5	58.6	80.0	70.4
13	本校の施設・設備は、充実していると思われますか。	73.6	70.2	65.6	69.6
14	前日のうちに宿題を済ませ、授業に必要なものを準備していましたか。	60.4	70.2	65.0	65.3
15	いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。	62.3	66.7	62.3	63.7
16	お子様は、現時点で、計画的な学習習慣が身についていると思われますか。	54.7	62.1	54.1	57.0
17	定期テストに向け、計画的に学習していましたか。	54.0	61.4	54.1	56.4
18	きまった時間に学習に取り組んでいましたか。	56.6	56.1	55.7	56.1
19	自分の個性や興味・関心を生かした進路の選択をしようとしていると思われますか。	53.8	52.6	59.0	55.3
20	将来のために学習の大切さがわかり、意欲的に学習に取り組んでいますか。	58.5	50.9	55.0	54.7
21	自分の将来の夢や目標を持っていると思われますか。	58.5	50.9	52.5	53.8
22	お子様はご家庭で、家事の分担を担っていますか。	43.4	54.4	42.6	46.8
23	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)の家庭学習をしていましたか。	49.1	43.9	41.0	44.4

生徒のアンケートより、集団生活の中で仲間と協力して自分の役割を果たそうとする生徒の割合が高くなっています。また、体験活動（授業や行事）のねらいをしっかりと理解しながら学習に取り組み、そこで得たことを日常生活に生かそうとする姿勢も見られます。相手のことを考えて意見を伝えたり、行動したりする生徒も高い割合を示しました。一方で毎日の家庭学習時間が目標値に達しなかったり、定期テストに向けての計画的な取組が不十分であったり、学習への取組に改善が必要です。また、学校で学んだことについて家族と話し合うことの割合が低い結果となりました。

保護者のアンケートからも、充実した学校生活の様子が伺えるものの、家庭学習時間等学習への取組が不十分であることが指摘されています。また、将来への夢や見通しをもって進路選択をするという姿勢が不十分であると感じておられる保護者が多いことも分かりました。

【保護者アンケート（記述）】

保護者の記述式のアンケートの中から、主なものについて紹介と回答をさせていただきます。
学校に対する個別のご要望等につきましては、遠慮なく担任にご相談ください。
多くのご意見等をいただきまして、ありがとうございました。

[家庭訪問・面談の時期]

- ・先生との面談（家庭訪問）の時期がもう少し早くにあるといいと思います。
- 現在は夏休みに入ってからの時期に実施していますが、1学期間の生徒の様子など学校からの情報をお伝えする意図や教育活動が一段落した後に担任がゆとりをもって行うことができるなどのメリットがあります。早い時期に面談や家庭訪問を実施することも意味があると考えますが、分からないことや学校への要望などはいつでも学校や担任にお伝えください。

[保護者アンケート]

- ・アンケートの回答について、どちらも返答しにくい場合があるので「どちらにも当てはまらない」を追加してもらいたい。1学年でまだ3ヶ月ほどしか経っていないので、分からない点が多いです。
- 肯定的評価の割合を取組の目標値にしていますので、「どちらにも当てはまらない」の割合が多くなると判断しにくい面があります。保護者のアンケートの選択肢につきましては検討させていただきます。（今年度の後期アンケートにつきましては、前期との比較の必要から同形式とさせていただきます。）

[携帯電話・SNS]

- ・入学してから、友達がたくさんできて、楽しく過ごしているようです。携帯をもたせたので、友達とのメールやラインに夢中で、勉強がおろそかになっているようです。学校でも機会があれば、話をして頂けるとありがたいです。
- メールやライン等 SNS の使い方については、1学期末に警察のサポートセンターの方を招いて講演をしていただくなど学校でもたびたび指導を行っています。また、SNS を介したトラブルも発生していることから、個別にあるいは学年単位での指導も行いました。保護者の皆様におかれましては使い方のルールを家庭で話し合っ
て確認するなど、子どもたちが被害者・加害者にならぬよう指導や管理をお願いいたします。

[部活動]

- ・部活動が少なすぎ。美術系をやりたいのになくなったため、いやいや運動部に入っている状態。その状態で3年間を過ごすなら、しないほうがいい。運動部しかない中学校(吹奏楽部は別)なら別の中学校へ行くか、部活動を増やした方がいい。
- ・部活動の充実に力を入れてもらいたい。生徒のやる気をつぶしてしまっているように思います。
- ・部活動は強制ではないと思います。子供たち自身が伸びる活動であってほしいです。
- ・文化部、陸上部の復活を望みます。やる気のない子が入部しても本人も楽しめず、やる気で頑張っている子には楽しめない原因にはなるのかも。全員で励まし合って協力することも大切なのはわかりますが…。
- 部活動は自由入部制ですが、教育的意義があり、内容の充実と生徒の希望に合わせた部活動の設置が望ましいとすべての教職員が考えています。しかし、他校と兼務の教職員の配置や生徒数の減少による職員定数減など、部活動を担当可能な教職員数が減っていることは事実です。また、必ずしも競技等の専門的知識や技能をもった教職員が配置されるとは限りません。現行のように部活動の数を減らすにあたっては、1年以上かけて学校運営協議会委員やPTAの代表からなる部活動検討委員会を中心に協議した上で、最終的に校長が決定しました。数を増やすことは困難ですが、教職員の努力や必要に応じて外部コーチを依頼するなど、内容の充実
に努めてまいります。ご理解をお願いいたします。

[学習]

- ・学習課題や自学などなかなか自主的に進める事ができない。家族でも何度も指示・指導をしますが、提出されていない時は休み時間や放課後などで行うような指導をしてください。
- ・テストの結果や学習理解が悪くすごく心配。学校以外で学習サポートしなければならない状況なのか授業内容が分からなければ、個人指導してもらえるか情報がほしいです。
- ・授業中に寝る子が何人かいると話していました。受験を控え、親としては心配です。眠くなるのは仕方ないときもありますが、頑張っている子のやる気を奪ってしまうこともあるとわかってほしいと思います。
- ・他校にこれだけは負けないという取り組みはありますか。学習のできない子に対してはどのような指導をされていますか？またその保護者に対して何らかのアクションはされていますか？親としても子供の学力に対してかなり不安を持っています。不得意科目に対し、学校に相談した場合対応はしていただけますか？
- 自ら主体的に学んだり、仲間と議論したり教え合ったりしながら学ぶことで本当の学力が身に付くとの考え方に
基づき、国全体で学力の向上を目指した授業改善の取組が始まっています、雄志中においても「主体的な学

び」や「学び合い」を通して課題解決する力を高めることを目標に教職員が研修を行い、授業改善に努めています。また、雄志中学校区で小中9年間の一貫した学力向上の取組を実現するために生徒の授業の受け方や教師の教え方など、各校が共通に取り組む項目を決めて連携を進めています。学力の向上には家庭での学習習慣の定着も不可欠です。今回の生徒アンケートでも家庭学習の評価は最も低い項目となっています。これまでも自学ノートによる学習習慣定着の取組や昼休みや夏休み等の補充学習等を実施してきましたが、さらに課題の出し方を工夫したり、家庭での計画的な学習の方法について指導したりするとともに補充学習の方法についても効果的な方法を検討していきます。ご家庭でも粘り強い取組をお願いいたします。

[交通マナー]

- ・登下校の自転車通学で急いで自転車をこぐ姿が見られますが、車の通りも多い時間帯で「あっ危ない」と思うことがあります。車での送迎も校門から進入する方もまだいらっしゃいます。大変だと思いますが、文書を出したり、今一度ルールを守るように確認していただきたいです。
 - ・駐車場に新しくきれいな線が引かれましたが、残念ながら守れないドライバーが多いようです。さらに1年生が放課後駐輪場で話し込み、通行の妨げになっています。今は雪もありますが、このままマナーを守れず冬を迎えるのは不安です。もう中学生なのだから、ルールを守る意味や他人に迷惑をかけてはいけないということをきちんと認識してほしいです。
- 自転車の乗り方については、並進して危ないなど地域の方から学校に連絡をいただくこともあります。機会あるごとに生徒に指導したり、立哨指導をしたりしています。ルールを守れない生徒に対しては一定期間自転車通学を禁止することもあります。

[生徒指導]

- ・学校で発生した問題行動について報告の来ることがあったが、学校での指導で十分な時や、また家庭でどう対応しているのかわからないときがあった。相手への謝罪が必要なのか、連絡先は？等もう少しわかりやすく教えてほしい。
- 生徒の問題行動等につきましては、事実と学校での指導事項をできるだけ丁寧に関係生徒の保護者に連絡するように心掛けています。今後のお子さんの向上・成長を第一に考えて対応させていただいておりますが、分からないことは担当職員に遠慮なくお尋ねください。相手への謝罪等につきましては、助言はさせていただきますが、最終的には保護者の判断であると考えます。

[スキー授業]

- ・スキー授業の全体配布資料には身長や靴などの個人情報に記載しないでください。先生方の手元資料にあればよいと思います。
 - ・スキー授業の際に配られた表に生徒のレンタル支払い額、身長、足サイズまで乗っていましたが、気にする子供もいると思います。配慮してほしいと思いました。
- 個人情報保護の観点から職員のための資料とし、全体への配布は行わないことといたします。

[エアコン]

- ・近年、厚さが増していますがエアコンの設置を考えていますか。学習の集中力を高めるためにも検討してほしいです。
 - ・扇風機の数を増やしてください。
- エアコンにつきましては、現在保健室、図書室等には設置されていますが、普通教室にはありません。上越市内の小中学校でも普通教室にまでエアコンが設置されている学校はなく、今のところ設置の予定もありません。普通教室には今年度、新たに1、2年教室に壁取付型の扇風機が設置され、これで全普通教室に扇風機が付きまして。特別教室では普通の扇風機を2台程度配置しています。

この他にも多くの貴重なご意見が寄せられました。保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、教育活動の向上に生かしていきたいと思っております。

以下に保護者の方の願いをお書きいただいた文を紹介いたします。

- ・小学校に比べ情報が少なく、最初は戸惑いました。ですが自立していく過程ですので先生にお任せしたいと思います。
- ・部活動の先輩方がとても親切で、一般常識も教えてくれるので喜んで活動している。2、3年生とのつながりがしっかりしているため、上下関係も身に付き社会に出て役立つと思う。
- ・子どもたちに対し、やさしく、時に厳しく、そして、あたたかく見守っていただき感謝しております。いじめ等なく、3年間夢に向かって過ごしてほしいと思います。よろしくお願いします。

※多くのご意見等をお寄せいただき、どうもありがとうございました。今後も学校と家庭・地域で協力し、子どもたちを支えていきましょう。

Web配信テストの結果より

各教科で苦手なところを重点に指導したり、過去の問題を使って練習させたりしています。9月には9項目中7項目で目標を達成しています。ただし、平均で見ると県平均を下回ることが多く、得点に差があることを示しています。学習が苦手な生徒の学力をアップすることが課題です。

Web配信問題解答の状況				* 数値は正答数(10問中)						
		1 年			2 年			3 年		
		国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
5月	雄志中	6.9	7.5	7.6	7.4	6.1	5.1	8.1	7.4	6.1
	新潟県	7.1	7.4	*	7.6	6.3	6.2	8.1	7.2	6.8
	県平均との比較	-0.2	0.1	*	-0.2	-0.2	-1.1	0	0.2	-0.7
	県平均を上回った割合	40.4	55.8	*	56.9	49.2	40.4	58.3	60	48.3
6月	雄志中	6.8	7.3	7.4	6.8	6	5.7	7.5	5.9	4.6
	新潟県	6.8	7.5	*	6.9	6.4	6.9	7.2	7.2	5.9
	県平均との比較	0	-0.2	*	-0.1	-0.4	-1.2	0.3	-1.3	-1.3
	県平均を上回った割合	59.6	55.8	*	63.8	50	42.4	60	38.3	43.3
7月	雄志中	9.1	6.6	7.6	7.8	5.7	5.3	8.1	6	5.4
	新潟県	6.8	7.5	*	7.9	6.1	6.3	7.8	6.6	6.8
	県平均との比較	2.3	-0.9	*	-0.1	-0.4	-1	0.3	-0.6	-1.4
	県平均を上回った割合	98.1	48.1	*	61.5	47.5	35.2	58.3	53.3	41
9月	雄志中	7.6	6.3	8.8	7.9	5.8	6.1	7.8	5.6	7.4
	新潟県	7.3	6.5	8.2	8.2	6.6	6.6	7.3	6.7	7.9
	県平均との比較	0.3	-0.2	0.6	-0.3	-0.8	-0.5	0.5	-1.1	-0.5
	県平均を上回った割合	58.7	52.8	64.5	52	43	43	65	41	55
			県平均を上回った割合が50%以上							

全国学力・学習状況調査（３年生 ４/19 調査）より

これらの力を補充するように、各教科で取り組みます。

平均正答率(%)				
	国語A	国語B	数学A	数学B
新潟県	76.5	66.9	62.3	44.0
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
雄志中	少し上	少し下	ほぼ同じ	少し下

○地域貢献活動は、地域全体の生徒の把握が難しい。窓口の先生を決めてもらえないか。地区の生徒の代表と

P T A も関って取りまとめたかどうか。

○夏休みの町内の貢献活動など、3年生になっても地域の活動に積極的に参加してくれている。

○SNSにともなう問題も多いと聞くが、公にしてしっかり指導してほしい。

前期学校評価の分析と改善策

雄志中学校では、教育課程の中心にキャリア教育を据え、すべての教育活動のねらいと活動後の評価にキャリア教育の視点を取り入れています。平成26年度からは「自立」「共生」「創造」の3つのプログラムを構成し、職員がいずれかに所属して教育活動を進めています。

①「自立」…自分の将来に目標を持ち、主体的に学習に励む生徒（学習指導）

②「共生」…自己の役割と責任を自覚した言動を取れる生徒（特別活動、生徒指導）

③「創造」…社会や地域の発展に寄与しようとする生徒（道徳、総合的な学習の時間）

それぞれのプロジェクトで目標値を設定して教育活動の評価を行っています。

今回の学校評価について、この3つのプログラムの部会で分析と改善策について検討し、職員全員で共通理解して取組を進めています。以下にその分析と改善策の一部を紹介します。

自立プロジェクト

① 学年目標時間(1年70分、2年80分、3年90分)以上家庭学習に取り組む生徒を80%以上にする

分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年75.5%、2年80.7%、3年72.1%、**全校76.0% ×**

◆保護者肯定的評価の割合…1年49.1%、2年43.9%、3年41.0%、全校44.4%

・年度初めの学習方法ガイダンス、終学活での家庭学習計画立案等を実施してきたが、目標を達成することができなかった。

・1学期は全校体制で家庭学習指導を進めることができなかった。→9/26以降実施

・生徒と保護者の評価差が大きいことが課題。

改善策

・学習計画指導のさらなる充実

→日々のデイリーライフへの帰宅後学習予定記入を確実に。

・「ページ」だけでなく「時間」も意識させる指導。→ノートに記録させる。

・英数WEBテストの過去問(数年分)を週末課題に。

→学年部で問題と回答を印刷、配布。提出なし。(教科での活用可)

→1,2年生は自主勉(1日分)としての利用を認める。

② 定期テストに向けて計画的に学習に取り組む生徒を80%以上にする

分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年74.1%、2年84.2%、3年59.0%、**全校72.1% ×**

◆保護者肯定的評価の割合…1年54.0%、2年61.4%、3年54.1%、全校56.4%

・昨年度より学習計画表や範囲表を、より計画立案しやすいものに改定した。また各教科部で早めにテスト範囲を提示するとともに、家庭学習でワーク学習に取り組むことを推奨してきた。学習計画表に保護者確認欄を3か所作り保護者と連携して指導にあたったが、目標を達成することはできなかった。

・生徒と保護者の評価差が大きいことが課題。

改善策

・家庭学習に関する学活授業の実施(定期テストの振り返りも兼ねて)

※事前に家庭学習に対するアンケートを実施(なぜ計画的×?目標時間×?)

※学校評価結果やアンケート結果をもとに家庭学習に取り組むための障壁や工夫について学級で話し合い、今後の学習に対する目標をもたせる。

・学年だより、学校だより等で、テスト学習に対する情報を家庭に提供。協力を依頼。

③ 雄志授業スタイルを実践できた生徒を80%以上にする

分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年 87.0%、2年 84.2%、3年 73.8%、**全校 81.4% ○**

・昨年度から「雄志授業スタイル」の取組を開始。生徒会による「授業態度向上運動」も「雄志スタイル」を軸に展開され、生徒にも意識や取組が定着し始めている。

改善策

- ・生徒会活動と連携しながら、生徒の意識向上を図る取組を継続。
- ・教師も「雄志授業スタイル」を意識して授業実践。指導の柱として位置付けていく。

④ 授業が分かりやすい・分かるとする生徒を90%以上にする

分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…全教科平均で **95.9% ○**（昨年度後期 94.5%）。

◆「とてもよく分かる」との回答割合も 80.1%（昨年度後期 72.2%）に上った。

- ・昨年度から「分かる授業」づくりを目指した授業改善に取り組んできた。

改善策

- ・ほめる授業、認める授業の実践継続→誰にでも分かる・できる授業づくり
- ・教師の「雄志授業スタイル～教えるの心得～」を意識した授業実践。

⑤ Web配信問題では、正答率で県平均を超える生徒を50%以上にする

分析結果(5月～9月のテスト)

◆1 学年目標達成回数…7回／9回中（国3回、数3回、英語1回）※英語県平均点は1学期は出ない

◆2 学年目標達成回数…5回／12回中（国4回、数1回）

◆3 学年目標達成回数…7回／12回中（国4回、数2回、英語1回）

- ・**33回のテストで目標を達成できたのは19回 △**。達成率 57.6%にとどまった。

・今年度から「成績カード」を新設するとともに、テスト後早めに生徒返却し、事後指導するようにしている。

- ・昨年度、白紙で提出する生徒もいた（Webに対する意識の低さ？）が、今年度はゼロ。

改善策

- ・英数WEBテストの過去問（数年分）を週末課題に。
- ・昨年度集計結果の活用→授業改善に役立てるとともに、事前指導で重点指導。
- ・サポート問題の活用→細分化し、授業開始時のミニテスト等で実施するなど工夫。
- ・県平均点・学年平均点を学校便りに掲載→生徒及び家庭の意識喚起。

参考 ◇雄志授業スタイル(教えるの心得)を意識して授業改善に取り組んだ教師が80%以上になる。

肯定的回答割合…**93.8%**（昨年度前期 70%、後期 92%）。

◇ 生徒が他者とかかわり合い、伝え合う授業を工夫した教師が80%以上になる。

肯定的回答割合…**87.5%**（昨年度前期 77%、後期 92%）。

共生プロジェクト

① 自他を大切に互いに意見を伝え合うことができる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・どの学級でも80%以上の肯定的評価を得た。全校で肯定的評価が94.7%。
- ・創造Pと連携し、1学期から授業で同和学習を行った。自分も相手も大切にすること、差別はあってはならないことについて、生徒は頭で理解できていると考えられる。
- ・普段の言葉遣いや態度の実態から「相手を尊重しながら互いに意見を伝え合う」という点では、授業中の仕掛けられた活動においてのみ生徒の達成感が高まったと考えられる。
- ・生徒がいつでも、どこでも、誰とでも、自他を大切にしたい意見交換を進んで実践できるよう、創造Pとの連携を通して、職員が共通理解を図りながら、計画的に指導・支援していく必要がある。

改善策

ア：全校共通のテーマで話し合いを意図的に仕組む。生徒同士の意見交換の場を設定。

⇒健康委員と生徒会本部が連携して「学校生活生徒アンケート」を作成、言葉遣いや振舞いの在り方について考え、全校で共有し合う。

イ：職員で共通理解を図りながら、個別で生徒への支援の実践。

ウ：言葉遣いについて家庭でも連携して意識してもらうよう、働きかける。

② 係活動や給食当番、清掃活動で、助け合い、協力できる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・どの学級でも80%以上の肯定的評価を得た。全校で肯定的評価が97.7%。
- ・各学級で担任のリーダーシップのもと、“一人一躍”という点で生徒が活動し、活躍できる場が保障されている。
- ・縦割り清掃を実施し、異年齢集団の中で助け合いが生まれていると考えられる。

改善策

ア：現在実践している取組を継続。より協働的な活動になるよう、JRCの精神「気づき・考え・実行する」という点を生徒に考えさせる。

イ：話し合いを通して自分たちで活動をつくり上げ、成功体験を積む機会を仕組んでいく。

ウ：班長会の実施、週目標の提示と振り返りなど、学級活動を基盤に、学年、全校へと発信していく。

③ 生徒会目標達成に向けて実践できる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・どの学級でも80%以上の肯定的評価を得た。全校で肯定的評価が94.2%。
- ・委員長の働きが目立ち、他の生徒の「自分たちの手でより良くしていこう」「工夫していこう」という前向きな考えや行動が見られない。
- ・各委員会の活動目標を意識できても、3つの生徒会活動目標を意識できているかどうかは曖昧である。

改善策

ア：活動が目的とならないよう、生徒会活動の今年度の目的と目標について再度、全校生徒に確認する場を設定。

目的：「楽しい生徒会づくり」

目標：「①お互いを知り合って笑顔を増やそう！②愛のある挨拶をしよう！③地域と一緒に美しいふるさとをつくろう！」

イ：各委員会での活動をより良くするために、じっくりと生徒に考えさせる時間を確保。	
④ 日常生活や学校行事を通して集団への所属感や連帯感を高めることができる生徒を80%以上にする。	
分析結果	
・どの学級でも80%以上の肯定的評価を得た。全校で肯定的評価が95.3%。 ・全ての生徒が所属感、連帯感を高められている状況ではない。 ・体育祭、音楽祭などの行事を通して学級や学年、軍集団、実行委員会などにおいて、振り返り活動を工夫していく。	
改善策	
ア：生徒の一人一人の役割を明確にし、目標設定⇒実行⇒振り返り⇒目標再設定のサイクルを定着させる。	
イ：ワークシートを活用して全校共通で実践。認め合う活動を仕組み、生徒が生徒の言葉で認められる実感を得られる活動を仕組む。	
⑤ 地域の一員として、地域行事や奉仕活動に参加する生徒を80%以上にする。	
分析結果	
・80%以上の肯定的評価を得たのは、各学年1学級ずつ。 ・全校で肯定的評価が77.9%。 ・1学期（前期）の地域行事への参加は主に太鼓部員、吹奏楽部員と一部のボランティア生徒。 ・参加した生徒の感想を写真と共に校内掲示する取組を生徒会本部と広報委員会が連携して実施。 ・本部担当者、環境ボランティア委員長が地域貢献活動への参加呼び掛けを行ってきた。生徒への啓発的な取組になっている。	
改善策	
ア：夏休み中の町内会行事や、各地域の納涼会（太鼓部、吹奏楽部の参加）を通して、 <u>参加した生徒が書く感想をたよりで発信したり、校内掲示したり</u> して、全校生徒が活動実績を共有できる場を設定。	
イ： <u>地域の方からの声を生徒に返す工夫</u> をし、生徒個人の有用感や達成感を高める。	
ウ：地域と一緒に行う行事の実現⇒自分たちが主体になって地域を盛り上げる取組の実現）	
・・・実際には各地域で夏祭りや敬老会を通して中学生の活躍の場はある。	

創造プロジェクト

① 総合的な学習の時間で学んだことや体験したことを通して自分の生き方について考えを深めることができた生徒を80%以上にする。	
【分析結果】	
・各学年、各学級でばらつきはあるものの全校では肯定的評価が86.0%で目標値を超えた。 ・1学期の総合的な学習の時間において、1年生は職業調べ、2年生は職場体験活動、3年生は高校説明会などを通して、自分自身の生き方や進路について向き合うことができたためと考えられる。	
【改善策】	
・2学期の総合的な学習の時間において、1年生は職業訪問インタビューのまとめ、2年生は職場体験活動のまとめ、3年生は大学訪問や進路実現に向けた学習を予定している。	
→総合的な学習の時間を通して、さらに自分自身の生き方や進路について考えを深められるようにしていく。	

②体験活動を通して地域や社会のために貢献できた生徒を80%以上にする。

【分析結果】

- ・**10**「体験活動（授業や行事を含む）を通して、気付いたことや考えたことを日常生活に生かすよう心掛けた。」というアンケート項目において、各学年、各学級でばらつきはあるものの全校では肯定的評価が86.0%で目標値を超えた。
→「地域や社会のために貢献できた生徒」となると、肯定的評価は下がるのではないかと考えられる。（前期の学校評価アンケートでは「地域や社会のために貢献できた」という文言が入っていなかった。）

【改善策】

- ・生徒会の地域貢献活動を継続し、全校生徒が自分の住んでいる地域や雄志中学校区全体の活動に関わる場を設定していく。
→地域貢献活動を通して、地域の方々と積極的に関わり、地域や社会の一員としての役割について考えを深められるよう働きかけていく。

③学習や体験活動、道徳で学んだことや考えたことを家族と語り合うことができる生徒を80%以上にする。

【分析結果】

- ・全学級が目標値に達することができず、全校で肯定的評価は68.0%であった。
- ・保護者アンケート**7**「生徒たちの授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。」（肯定的評価78.5%）、**15**「いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。」（肯定的評価63.7%）からも親子で語り合う時間が少ないのではないかと考えられる。

【改善策】

- ・メディア視聴の時間を減らし、親子の会話を増やすよう働きかけていく。
- ・道徳の時間に使用したワークシートの持ち帰りと保護者のコメント記入を継続して行い、道徳の時間を通して学んだことや考えたことを親子で話す場を意図的に設ける。
- ・学校・学年・学級便りなどを通して、学校の教育活動を積極的に発信していく。

④日常生活において自分の人権を守るとともに、他の人権を守るために、よく考え、判断して行動するよう心掛けた生徒を80%以上にする。

【分析結果】

- ・全学級が目標値に達し、全校で肯定的評価は92.4%であった。
→これまでの授業や道徳の時間、生徒会の取組が少しずつ浸透してきていると考えられる。しかし、日常生活において、仲間の人権を理解し、尊重して生活しているとは言えないような生徒の言動も見られる。

【改善策】

- ・2学期は人権強調週間を設け、各学年で同和学習の授業を行う。また、そのうち1時間は授業参観とし、保護者・地域に公開する。
- ・日常生活の中で「自分も相手も大切にする」という視点を大切に、全ての教育活動で共通理解しながら指導にあたっていく。

